

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、最新の WA 競技規則、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告および展示物に関する規程、並びに本大会競技注意事項および申し合わせ事項に従って実施する。

2. 招集について

- (1) 第一次招集は雨天走路に設ける招集所にて行う。番組編成にある本人の組・レーンを確認し、ナンバーに○をつけること。その際、競技中に着用するユニフォーム・アスリートビブス・腰ナンバーカード・競技使用予定シューズ・商標の確認を受けて招集を完了とする。
- (2) 腰ナンバーカードは競技終了後、必ず競技役員に返却すること。
- (3) リレー競技の第一次招集は、出走者 4 名全員が受けること。
- (4) TR24.13 に関わらず、リレーオーダー用紙は、第一次招集開始の 10 分前までに正面エントランスに設ける TIC へ提出すること。リレーオーダー用紙を提出しなかった場合、そのチームは欠場とみなす。（「3.欠場について」参照）
- (5) リレーオーダー用紙の提出後に、ケガまたは病気等によりメンバー変更の必要が生じた際は、主催者が任命した医務員の署名済の書類提出がない限り、変更は認められない。この場合、競技者の変更のみが認められ、走順の変更は認められない。
- (6) TR24.10（国際）に従い、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいてもリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。また、最初のラウンドに出場した競技者はその後のラウンドを通して、最大 2 名まで他の競技者と交代することができる。
- (7) **同一時間に 2 種目以上出場する競技者、及び競技中のため他の種目の第一次招集を受けられない競技者は、招集を受けることのできない種目の第一次招集完了時刻までに重複出場届を TIC に提出すること。これをもって重複出場届の手続きは完了とする。なお、原則、二次招集には競技者本人が参加すること。**
- (8) 種目別・組別の招集時刻は、HP に掲載されている競技日程の記載の通りとする。
- (9) リレーオーダー用紙・重複出場届・当日欠場届は TIC にて配布する。

3. 欠場・競技者変更について

- (1) 7 月 30 日（木）正午までに事前欠場届を関西学連記録部(icaak.rec@gmail.com)までメールにて提出すること。
- (2) 当日欠場は原則として認めない。やむを得ない場合に限り、当該種目の競技当日に当日欠場届を当該種目の第一次招集開始時刻までに TIC に提出することで欠場が認められる場合がある。なお、当日欠場届には、監督（不在の時は代理人）および本人のサインを記入すること。
- (3) リレー競技の当日欠場についても上記の手続きを満たし、第一次招集開始 10 分前（リレーオーダー用紙提出締切時刻）までに当日欠場届を提出すること。

4. 競技者の服装について

- (1) 競技者は原則として所属する団体で同一のデザインのユニフォームを着用すること。これはリレー競技に限らず、すべての種目について適用する。異なる形状のユニフォーム（トップス・ショーツ・ハーフタイツなど）を使用する場合も、色・デザインを統一させること。
- (2) 競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については、HP 掲載の別紙『競技会における広告および展示物に関する規定（国内）』を必ず確認すること。違反した場合にはテープ等でマスキング処置を行う。
- (3) 全てのトラック競技の腰ナンバーカードは右腰に明瞭につけること。
- (4) 本大会は TR5.2 ルールを適用し、規格外のシューズ使用は全て禁止とする。

5. アスリートビブスについて

- (1) 加盟校については、学連が配布した 2026 年度のアスリートビブスを使用し、ユニフォームの胸部および背部に折り曲げたりせず、明瞭につけること。また、その他の競技者はエントリー時の番号を記載したアスリートビブスを使用すること。

6. 競技用器具について

- (2) 使用器具は原則として競技場備え付けのものを使用すること。
- (3) リレー及びフィールド競技のマークは養生テープを使用すること。競技場保護のため、それ以外のテープは認めない。

7. トラック競技について

- (1) 計時について、トラック競技の計時は写真判定 (0.01 秒) とする。ただし、装置に故障等のトラブルが生じた場合、手動計時 (0.1 秒) とする。
- (2) リレー競技において、同ラウンドに同一競技者は二度出場することはできないこととする。
- (3) 救急搬送防止および競技者の安全確保のため、審判長や競技役員が競技者の体調を見て、医師または医務員と協議のうえレースを中止させる場合がある。その場合、必ず指示に従うこと。
- (4) 本競技会は SIS (スタートインフォメーションシステム) を使用しない為、スタート時の不適切行為及び不正スタートの判断は目視で行う。
- (5) 100m は、気象状況によりバックストレートで実施することがある。

8. 抗議について

- (1) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、結果が正式に発表されてから、30 分以内 (同一日に次ラウンドがある場合は 15 分以内) にその競技者あるいはチームの監督が口頭で TIC を通じて審判長に申し出なくてはならない。(競技規則 TR8.2, 8.3)

9. 悪天候時等の際の対応について

- (1) 競技の実施が不可能となることが予想される場合には、関西学連会長・ヘッドコーチ・競技委員長・事務局長・幹事長と陸協等で方針を協議する。
- (2) WBGT 値が 31 以上となった際は競技を中断または中止することがある。
- (3) 中止となった種目のエントリー料の返金は行わない。

10. その他

- (1) 記録の正式発表は大型ビジョンにて行う。
- (2) 事前欠場者の人数により、番組編成を変更する場合がある。
- (3) 日本陸上競技連盟が発表 (2026 年 6 月 19 日) している夏季競技会の運営方針に基づいて運営を行う。
- (4) 記録証明書の発行を希望する競技者は、1 階正面エントランスに設ける受付へ発行手数料 300 円を添えて申し込むこと。
- (5) 競技場内へ立ち入る際、競技場保護のためヒール等の底の固い靴は一切禁止し、アップシューズもしくはスニーカーで入場すること。学生審判・補助員も同様とする。
- (6) 競技者は競技区域内にビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を持ち込めない。(競技規則 TR6.3.2)
- (7) 注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その学生の所属する大学の以降の競技を中止させ処罰を与える。
- (8) 大会期間中に疑問な点があれば、大会本部まで申し出ること。